

子どもの虐待防止セミナー 開催要綱

趣旨 子どもの虐待は、統計開始の1990年度から30年以上連続で増加の一途を辿っている、深刻な社会問題のひとつです。相次いで報道される重大な事件は氷山の一角にすぎず、児童福祉分野・各教育機関の関係者のみならず、地域社会全体で取り組む必要があります。

子どもの虐待を防ぐための各種法制度が整備され、虐待の未然防止や早期発見に向けた様々な取り組みが進められていますが、子どもの虐待を防止するためには、専門職や信頼できる人等、第三者による子育て家庭への支援が大変重要です。

本研修は、子どもと子育て家庭の支援をすすめるため、子どもの虐待に関する現状と傾向を理解し、どのような支援に取り組むべきか考えることを目的に開催します。

1. 「子どもの声を聞く」ことを改めて学べます

子どもの虐待について、基本的な知識として虐待の種類や影響・法律や制度を再確認するとともに、子どもの声を聞く（＝子どもアドボカシー）の重要性とその実践方法について学べます。

2. 虐待を防ぐために、どのような保護者支援ができるかを考えます

虐待の発生要因には、保護者の「育児ストレス」「保護者自身の愛着形成上の課題」等が指摘されています。全国の虐待死亡事例等の考察から、保護者の心理を理解し、保護者支援について考えます。

3. 子どもが発するSOSのサインを見逃さない、専門職の視点を学びます

虐待を受けている子どもが発するSOSのサインを見逃さないために、専門職として、関わる大人として、どのようなことに配慮すべきか、学びます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

保育所・子育て支援センター・母子生活支援施設・児童養護施設・児童家庭支援センター等子どもに関わる施設職員
主任児童委員／民生委員・児童委員／民生委員協議会事務局職員
児童館職員（館長・児童厚生員等）、放課後児童クラブ（学童保育）職員
子どもの福祉に関心のある施設・社協等の職員（施設種別は問いません）

配信期間

令和6年10月10日（木）～11月29日（金）

申込期間

令和6年8月9日（木）～9月6日（金）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和6年9月13日（金）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	講義 1 「子どもの虐待と保護者支援」	子どもの虐待について、虐待の種類や影響、虐待が起きる背景等の基本的な知識を確認し、動向について学びます。 虐待を行ってしまう保護者の心理状態や各段階に応じた課題について、全国の虐待死亡事件等から考察し、保護者支援について考えます。
約 90 分	講義 2 「子どもアドボカシーの重要性」	子どもの心的成長過程においては、いかに子どもが自分の意見を表明し、周囲の大人がその意見を尊重するか（＝子どもアドボカシー）が重要であることは、いうまでもありません。ただ「子どもの意見を尊重する」ことは簡単ではなく、環境や関係づくりが重要です。 子どもアドボカシーの重要性を再認識し、その実践方法を学びます。
約 90 分	講義 3 「虐待を受けた子どもの心理と行動」	子どもと関わる専門職は、様々な場面で子どもの言動から「何か気になる」サインを受け取ることがあります。子どもにとって最善の対応に結び付けるため、虐待を受けた子どもの特徴である心理と行動を学び、その「気になる」の正体を考察します。